

第2・3学年 道徳科学習指導案

令和4年1月24日（月）第5校時

指導者 教諭 関口 真由美

<第2学年1組>

1 主題名 生きものにとくするためには

2 ねらい 死んでしまったみなみへ贈る言葉や飼育員の気持ちなどを考える活動を通して、私たちの生活の中で何気ないことが動物の命を奪っていることに気づき、動物に優しく接しようとする心情を育てる。

教材名 「ごめんね みなみ」

出典 学研教育みらい

「みんなのどうとく」2年

3 主題設定の理由

（1）ねらいや指導内容について

本主題は、小学校学習指導要領「特別の教科道徳」の内容項目【D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること】の小学校第1学年及び第2学年の内容項目「身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接すること。」をねらいとしている。この項目は、第3学年及び第4学年の「自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすること。」から、第5学年及び第6学年の「自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすること。」に発展していく。さらに、中学校では、「自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の愛護に努めること。」へとつながっていく。

<第3学年1組>

1 主題名 母なる大地を守る

2 ねらい ハチドリの行動や気持ちについて考える活動を通して、環境を守るために、小さなことでも自分にできることをすることの大切さに気づき、自然を守るために自分にできることを考え、生活していこうとする意欲を高める。

教材名 「ハチドリのひとしずく」

出典 学研教育みらい

「みんなのどうとく」3年

3 主題設定の理由

（1）ねらいや指導内容について

本主題は、小学校学習指導要領「特別の教科道徳」の内容項目【D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること】の小学校第3学年及び第4学年の内容項目「自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすること。」をねらいとしている。この項目は、第1学年及び第2学年の「身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接すること。」を受け、さらに、第5学年及び第6学年の「自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすること。」に発展していく。さらに、中学校では、「自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の愛護に努めること。」へとつながっていく。

第2学年の児童は、主に生活科の学習を通して第1学年の時から自然や動植物に親しみ、生き物を大切にすることや自然の美しさなどを学んできている。これまでの生活経験から「生き物は大切にしなければならない。」という概念はある。今後はさらに、自ら自然や動植物を大切にしようとする気持ちや自分たちがしていることが生き物の命を奪っていたり、環境を壊していたりしていることに気づき、生き物や自然を大切にするために自分ができることをしようとする気持ちをもち、生活していくことが大切である。

指導に当たっては、私たちの生活の中で何気ないことが動物の命を奪っていることに気付かせ、自然や動植物に優しく接しようとする心情を育てたい。また、自分の生活を振り返って、生き物や自然を守るために大切なことやできることを考えさせ、自分にできることを実践していこうとする心情を育てたいと思い、本主題を設定した。

(2) これまでの学習状況及び児童の実態について

(略)

(3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、動物園にいる出産間近のキリンが、「園に落ちていたビニール袋を食べていたことが原因で胃袋が塞がってしまい、死んでしまった」と、子供たちが園長から聞き、動物園に来た人のビニールゴミが命を奪うことにつながっていることに初めて気づき、子供たちが心の中で「ごめんね。」という気持ちをもつ様子が描かれている。

本教材を通して、主に次の場面を話し合う。

①死んでいるみなみが見つかった場面

キリンのみなみが悪いのではないことを押

第3学年の児童は、第1学年及び第2学年の生活科の学習から理科や総合的な学習の時間の学習を通して、自然や動植物に親しみ、生き物を大切にすることや自然の美しさなどを学んできている。さらに、生き物や自然を大切にすることを深め、環境保全について関心をもち、必要性について考えることができるようにしていく必要がある。また、環境保全が自分たちの生活、生命が守られることにつながっていることに気づき、そのために自分ができることを考え、実行しようとする意欲を高めることが大切である。

指導に当たっては、環境を守るために、小さなことでも自分にできることをすることの大切さに気づき、自然を大切にすることを育てたい。また、自分の生活を振り返って、生き物や自然を守るために大切なことやできることを考えさせ、自分にできることを実践していこうとする意欲を高めたいと思い、本主題を設定した。

(2) これまでの学習状況及び児童の実態について

(略)

(3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、南アメリカの先住民につたわる話から環境を守るために大切なことは何か考えさせる教材である。森が燃え、森の生き物たちは我先にと逃げる中、小さなハチドリのカリキディだけは、くちばしで水のしずくを一滴ずつ運んで火の上に落とし、まわりに笑われても、自分のできることをし続け、大切な森を守る様子が描かれている。

本教材を通して、主に次の場面を話し合う。

①森が燃え、生き物たちが逃げっていく場面

逃げていく動物たちの気持ちを考える。

さえる。また、人間の行動が原因であることに気付く。

②園長の話聞いた後の場面

自分なら、キリンのみなみにどんな言葉を贈るか考える。また、死んでしまったみなみのような動物を増やさないために、どんな気持ちが必要かを考える。

②クリキンディが水を運び続ける場面

クリキンディの思いを行動から考える。
そして、自然を守るために大切なことは何かを考える。

4 学習指導過程

段階	学習活動と主な発問 ◇補助発問	・予想される児童の反応 ★指導の留意点 ◎評価の視点	時間		学習活動と主な発問 ◇補助発問	・予想される児童の反応 ★指導の留意点 ◎評価の視点	段階
導入	1 自然や動植物の写真を見て、感じたことについて話し合う。	★美しい自然と破壊された様子の写真を見せ、問題意識をもたせ、教材への関心を高める。 ・きれい。 ・かわいい。 ・すごい。 ・かわいそう。	合同指導 5分	合同指導	1 自然や動植物の写真を見て、感じたことについて話し合う。	★美しい自然と破壊された様子の写真を見せ、問題意識をもたせ、教材への関心を高める。 ・美しい ・ひどい。 ・汚い。 ・死んでしまう。	導入
自然や生きものを守るために大切なことは何だろう。							
		★机をグループにする。 ★ワークシートを配る。				★机をグループにする。 ★ワークシートを配る。	
展開	2 教材「ごめんねみなみ」について知る。 ・登場人物 ・条件・状況	★登場人物や条件・状況を整理する。	直接指導 10分	間接指導	2 教材「ハチドリ」のひとしずくについて知る。 ・登場人物 ・条件・状況	★ICTの活用をする。条件・状況の説明と範読をタブレットに録音し、一人一人がイヤホンをして聞く。	展開

	3 教師による読み聞かせを聞き、話し合う。 ①みなみが死んでしまったのはだれのせいだろう。 ②自分が今、動物園にいて、みなみにどんな言葉を贈りますか。 ③また、死んでしまったみなみのような動物を増やさないために、どんな気持ちが大切ですか。	・ゴミを落とした人たちのせい。 ・拾わなかった人たちのせい。 ★人間の行動がみなみの死んでしまった原因であることを押さえる。 ★発問を投げかけ、ワークシートに記述するよう指示し、3年生の指導へ行く。		3 録音した読み聞かせを聞き、話し合う。 ①森が燃えて逃げる動物たちはどんなことを考えていたかワークシートに記述する。	★自分がもし火事に合ったらどんなことを思って逃げるか想像させる。 ★タイマーをセットし、時間に気を付けて指導を行う。	
	②・③について考えたことをワークシートに記述する。 ◇園長や飼育員さんやみなみの気持ちを考えて書きましょう。	<園長や飼育員> ・こんなことになるなんて。 ・気付けなくてごめん。赤ちゃんを楽しみにしていたのに。 ・早く気付いていたら助けられたかもしれない。 ・もっとお客さんに注意をしたらよかった。	間 接 指 導 10 分	直 接 指 導 ① 3 分 ② 6 分 ①森が燃えて逃げる動物たちはどんなことを考えていたかワークシートに記述したことを発表する。 ②クリキンディはどんな思いで、水を運び続けたのだろ	・早く逃げなきゃ死んでしまう。 ・命が1番大事。 ・仕方がない。 ・どうしてもできない。 ★逃げていく動物たちの気持ちを押さえる。 ・森を守りたい。 ・森がなくなったら住む場所がなくなってしまう。	

		<みなみ> ・ どうして苦しいんだろう。息ができないよ。 ・ どうしよう。飼育員さん助けて。 ・ 赤ちゃんだけは助けて欲しい。 <みなみに贈る言葉> ・ 苦しかったよね。 ・ 赤ちゃんを産めなくて悲しいよね。 ・ 落ちているビニール袋やお菓子の袋がこんなことになるなんて。 ・ 今度から落ちているゴミは拾うからね。 ・ ゴミを落とさないように気をつけるからね。 ★多面的・多角的に考えることで、動物を大切にしようとする心情を深める。			う。 ◇自分ならどうしますか。	・ 自分ができたいことをしたい。 ・ 大切な森だから。 ・ みんなの大切な住み家だから守りたい。 ★クリキンディの思いと行動から、自然環境を守るために行動することの大切さについて考えさせる。 ・ 自分なら逃げる。 ・ クリキンディのように行動できないと思う。 ・ 自分も同じように行動する。 ★自分事として考えることで、道徳的価値を深めるとともに、多様な意見を聞いて考えさせる。
	②について伝え合う。	★多様な意見に触れさせ、考えを深める。	直接指導 5分	間接指導	③について自分の考えをワークシートに記述する。	・ 自然を大切に思う気持ち ・ 守りたい気持ち ・ 自分にできたいことをしようとする気持ち

	③について 3 年生と意見の交流をする。	★机をコの字型に戻す。 ・大切に思う気持ち ・動物のことを考えて行動する気持ち ・優しくする。 ◎みなみへ贈る言葉 などを考え、動物に優しく接することの大切さについて考えている。(発言・ワークシート)	合 同 指 導 5 分	合 同 指 導	③について 2 年生と意見の交流をする。	★机をコの字型に戻す。 ・自然を大切に思う気持ち ・守りたい気持ち ・自分にできることをしようとする気持ち ◎クリキンディの行動や気持ちについて 考え、自然を守るために大切なことについて考えている。(発言・ワークシート)	
終 末	4 これまでの自分を振り返り、自分にできることを考える。	★学習を振り返り、自己を見つめさせる。 ◎自然や生き物を大切に するために自分にできることについて、自分を振り返り考えている。(ワークシート)	合 同 指 導 10 分		4 これまでの自分を振り返り、自分にできることを考える。	★学習を振り返り、自己を見つめさせる。 ◎自然や生き物を大切に 守っていくために自分にできることについて、自分を振り返り考えている。(ワークシート)	終 末
	5 教師の説話を聞く。 ・自身の取り組みについて話す。	★小さな取り組みでも自然や生き物を守ることに つながっていることを伝え、自分ができることをしようとする気持ちを高めて終わるようにする。			5 教師の説話を聞く。 ・自身の取り組みについて話す。	★小さな取り組みでも、自然や生き物を守ることに つながっていることを伝え、自分ができることをしようとする気持ちを高めて終わるようにする。	

5 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・みなみへ贈る言葉などを考える活動を通して、動物に優しく接することの大切さについて考えている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・自然や生き物を大切にするために自分にできることについて、自分を振り返り考えている。

5 評価の視点

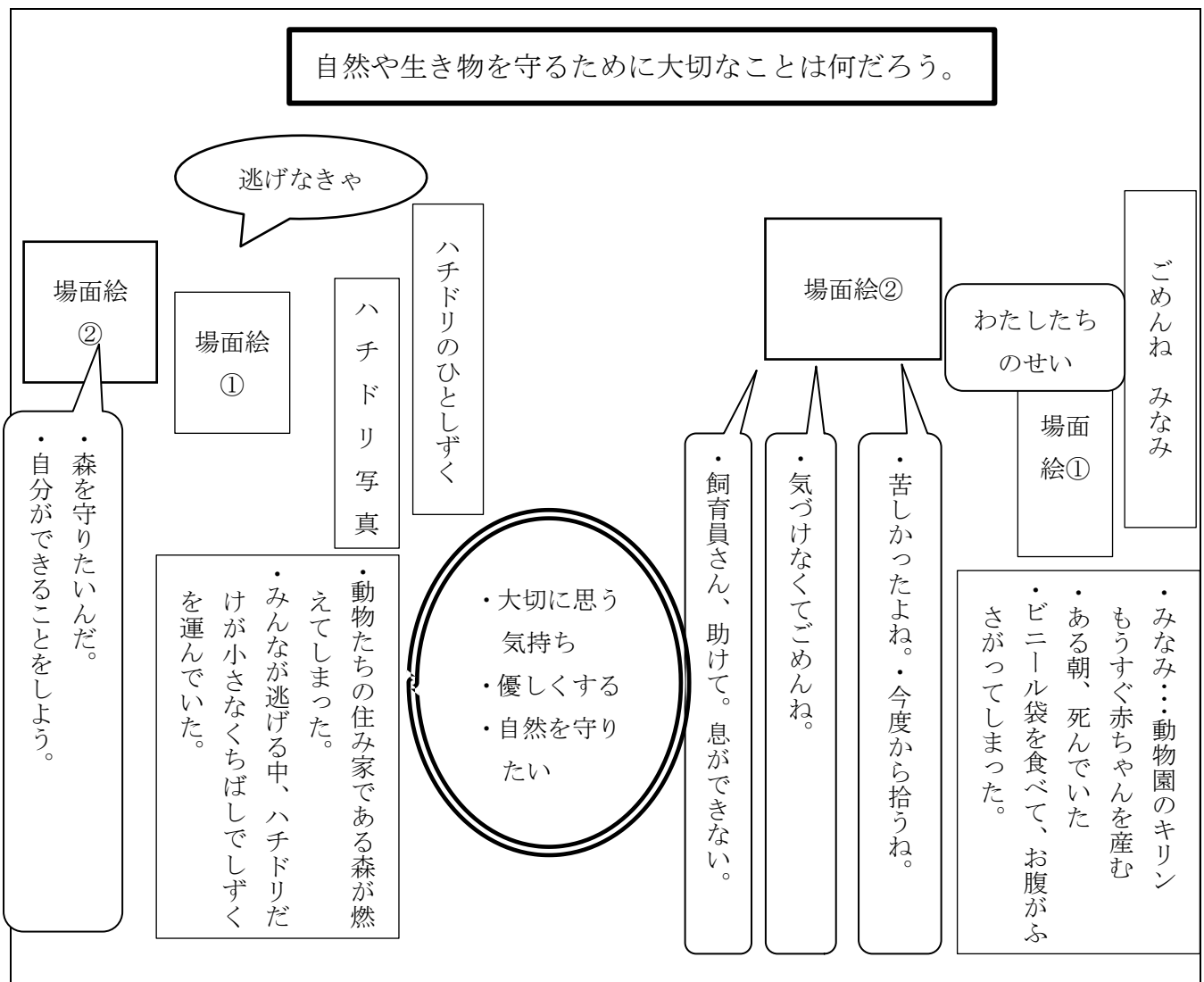
【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・クリキンディの行動や気持ちについて考えることを通して、自然を守るために大切なことについて考えている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・自然や生き物を大切に守っていくために自分にできることについて、自分を振り返り考えている。

6 板書計画



7 座席表

